

平成30年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成31年 2月28日

農林水産省
食料産業局長 殿

JA全農インターナショナル
米穀・園芸部

平成30年度における輸出に取り組む事業者向け対策事業の海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : 香港

実施期間 : 平成31年 2月22日(金)～ 2月24日(日)



「香港大昌貿易行 全農青果物フェア」

1. 大昌貿易行での『JA全農フェア』実施

- (1)期間 : 平成31年2月22日(金)～2月24日(日)
- (2)場所 : DCH Food Mart 北角店
DCH Food Mart 置富南店
DCH Food Mart 堅拏道西店
- (3)出席者 : 大昌貿易行 ルイ次長
JA全農インターナショナル(株) 山口
- (4)内容 : 大昌貿易行は香港内に約30店のスーパーマーケットを持ち、小売り事業の他にも機械製品の輸入等、多角的事業を展開する現地の老舗企業。
香港の複数店舗(3店舗)において、日本国産菌茸の販売促進を行った。
鍋需要を喚起するため、複数品目を並べ、試食販売を行った。
マネキンも1店舗1人を常時立て、効果的なPRを実施した。
- (5)販売青果物
菌茸類(えのき、ぶなしめじ、エリンギ)、りんご(青森県産)等の果物、野菜
- (6)出荷日程
2月14日 東京→香港 船便
2月19～20日 大昌貿易行 各店舗に到着
- (7)着荷状況
すべての商品はほぼ良好であった。

2. 香港全農青果物フェア実施内容

- (1) 期間 : 平成31年2月22日(金)～2月24日(日)
- (2) 場所 : 平成31年2月22日(金)10:00～17:00 DCH Food Mart 北角健威店
平成31年2月23日(土)10:00～17:00 DCH Food Mart 置富店
平成31年2月24日(日)10:00～17:00 DCH Food Mart 銅羅湾店
- (3) 内容 : 各店舗プロモーターを各1名配置し、試食宣伝販売を実施した。
試食の効果は強く、試食後すぐに商品に手を伸ばして購入するお客様も散見された。



大昌貿易行 置富店での販売



えのきにだし汁をかけて試食



様々な菌茸類を販売





大昌貿易行 銅羅灣店での販売



大昌貿易行 北角健威店での販売



目を引くPOPで集客を喚起

商品リスト

青果物	種類	産地 (本部名)	等階級 (規格)	容量・入数	箱重量 (kg)	荷姿	Order Quantity (箱単位)
果実	りんご(王林)	青森	特A	36玉	10.0	発泡	30
	りんご(金星)	青森	特A	32玉	10.0	発泡	30
	みかん	徳島	L	約75玉~95玉	9.0	ダンボール	20
野菜	キャベツ(三浦)	神奈川	L8玉	8玉	10.0	ダンボール	10
	たまねぎ	北海道	L小	小100玉目安	20.0	ダンボール	10
	南瓜	沖縄・鹿児島	-	9玉	10.0	ダンボール	10
	大根(三浦)	神奈川	L	10本	10.0	ダンボール	10
	白しめじ(ブナピー)	長野・静岡・新潟(ホクト)	100g	30入	3.0	ダンボール	15
	エリンギ	長野	100g	30入	3.0	ダンボール	15
	舞茸	静岡・長野(ホクト)	100g	20入	2.0	ダンボール	15
	えのき	新潟	A	200g×30入	6.0	ダンボール	40
	ぶなしめじ	新潟	A	170g×20入	3.4	ダンボール	25
	新甘藷	宮崎	S以下	500g袋×20入	10.0	ダンボール	250
							480

3. 所感

一般的に菌茸の販売は香港市場では困難と言われているものの、実際の試食と絡めて販売を行うことで、消費者の注意を引き、購買意欲に繋がるのが目に見えて分かった。試食の方法も単純に油を引いて焼くのではなく、健康食とされる火鍋のチキンスープを使用し、スープに絡めて提供することで、現地のスタイルに合った試食を実施した。特にぶなしめじは、日本産は形も整っており、消費しやすいサイズであることから、単価も他の日本国産農産物ほど現地産と大差なく、求めやすい価格であり、より消費者をひきつけたものと思料する。

4. フェアの成果及び今後の進め方

今回は、現地で生で食べる習慣のない菌床しいたけを混ぜることはできなかったが、次回は菌床しいたけの試食を通じて、調理方法も同時に啓発し、さらなる菌茸の輸出拡大に努めたい。